学校だより

ぽぷら

千葉市立宮崎小学校
令和6年2月 29 日

臨時号　アンケート集計結果報告

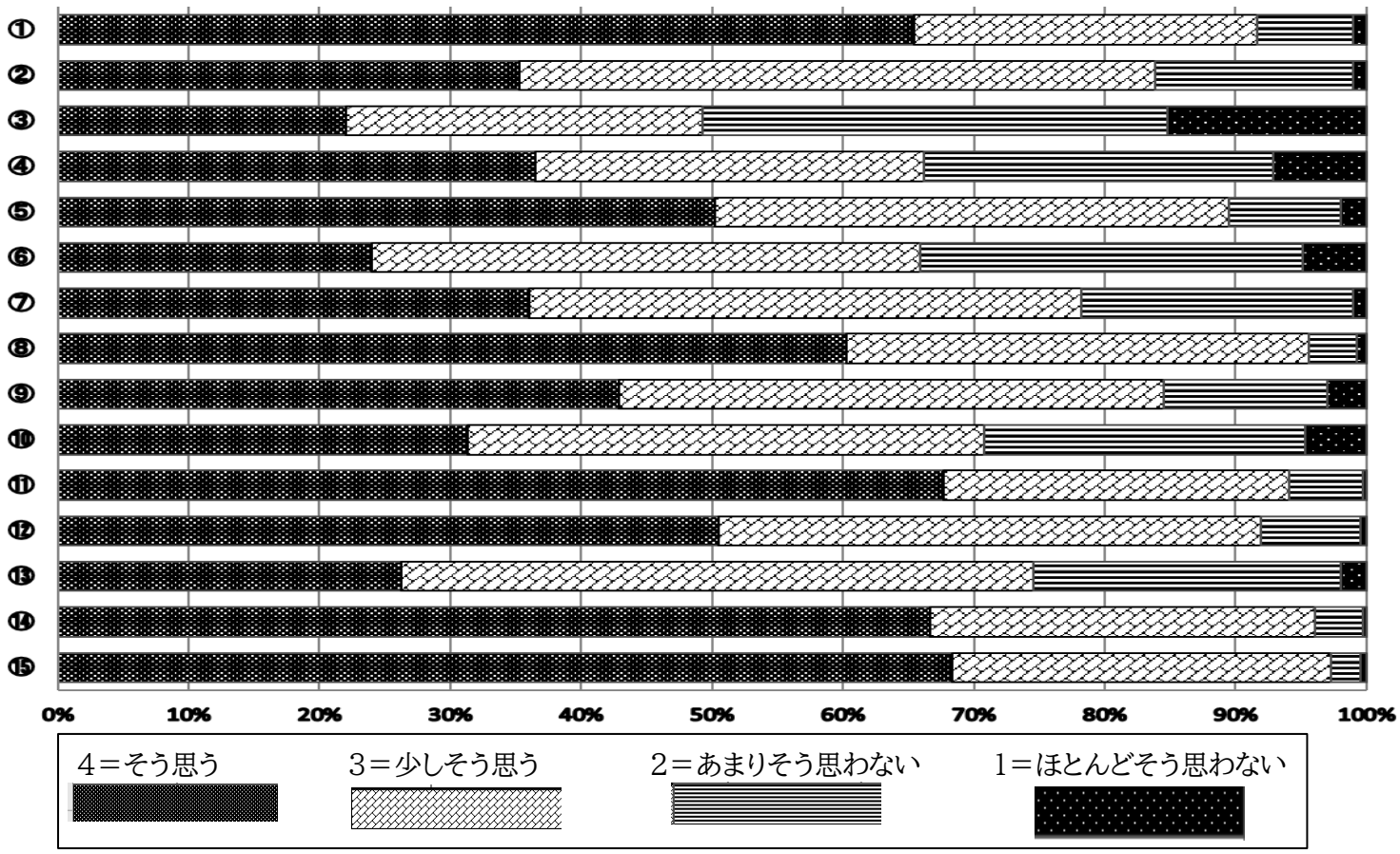
早春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。さて、1月にお願いいたしました保護者アンケートには、たくさんの皆様から回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。ここに結果をご報告いたします。（回収率　51%　）

■お子さんの姿から、お考えください。

① 学校に楽しく通っていると思われますか。
② あいさつや返事がきちんとできていると思われますか。
③ 進んで読書をしていると思われますか。
④ 進んで運動（体力づくりや外遊び）をしていると思われますか。
⑤ 同学年・他学年の子供たちと良い友達関係を築いていると思われますか。
⑥ 進んで自分の考えを話せると思われますか。
⑦ 自分のものや家のものを大切にしていると思われますか。
⑧ 学校のきまりを守って生活していると思われますか。
⑨ 学校の学習を理解していると思われますか。
⑩ 学校の学習を楽しみにしていると思われますか。

■学校の取り組みについて、お考えください。

⑪ 先生方は、熱心に子供に教えていると思われますか。
⑫ 教室や校内の環境整備に努めていると思われますか。
⑬ 学校・学級の状況が、家庭に伝わっていると思われますか。
⑭ けがや事故に対する学校からの連絡や処置は適切だと思われますか。
⑮ 学校は、児童の安全確保に努力していると思われますか。



■お子さんの姿

○約91％方が「子供が楽しく（学校に）通っている。」と回答してくださいました。毎年、保護者の皆様が子供たちを温かく送り出してくださっているからこそだと思います。感謝申し上げます。今後もすべての子供たちが楽しく通える学校を目指していきます。

○約90％の方から「良い友達関係を築いている」と回答をいただきました。時に子供同士のトラブルが起こることは避けられませんが、子供たちがお互いの気持ちを理解し、思いやりの心をもって過ごしていけるよう、学校でも努力していきます。

○約95％の方が、「きまりを守って生活している。」と回答してくださいました。学校だけで身に付けさせられることではありませんので、ご家庭の協力あってこそだと思います。引き続き、子供たちが、きまりのある意味や大切さを理解できるよう、指導していきたいと思います。

○読書習慣が良好と答えた保護者の方は約 49％でした。他の項目に比べ、やや低くなっています。読書の項目は年々「そう思わない」割合が多くなっています。学校でも、朝の読書タイムや国語の時間を活用して読書の推進に取り組んでおります。図書室の本の貸し出し数は昨年度 24349 冊（一人あたり月 2.5 冊）。今年度 1 月末現在 22738 冊（一人あたり月 2.8 冊）と単純に平均で比べれば昨年度よりも冊数は増えています。今後も引き続き読書教育を推進し、読書習慣を身に付けられるよう支援してまいります。ご家庭でも、お子様と本を読んで感想などを共有し、読書に親しんでいただければと思います。

■学校の取り組み

○「学校の学習⑩」について、楽しみにしているかどうかという項目が昨年度より低い評価をいただきました。学校教育目標である「よく感じ　よく学び　よく伸びる」が実現するために、主体的な学びの実現は必要不可欠であると考えます。子どもたちが、主体的に学べるためにも「学びが楽しい」と感じることは、教職員として子どもたちのあるべき学びの姿ととらえ、これからも努めて参ります。

○「進んで運動④」についても約66％となっており、昨年度よりも低い評価をいただきました。以前は、休み時間を校庭と菰池公園をつかって遊べる環境でしたが、現在、菰池公園が工事中（令和 7 年 5 月までの予定）のため、800名の児童が遊べる場所は校庭のみになっています。また現状、昼の休み時間がない日もあるというご意見も多くいただいています。（※詳細は次の項目をご覧ください）そういったことから、物理的に遊ぶ場所の確保は難しい現状ですが、日程を調整しました。

■保護者の皆様の声から

主なご意見	学校としての対応・方針
・集会や式で全校児童がそろう機会を増やしてほしい	コロナ禍で学校現場に始まったオンライン集会。今、その必要がなくなった中で参集という形の教育的価値を今年度、運動会や創立 60 周年記念行事などの行事から再確認ができました。ただ、以前行っていた際には、800人以上の児童と 50人弱の大人が一度に集まると時間がかかってしまうデメリットも実感しました。 「季節」「教育的の目的」を図りながら、今後全校参集の集会（式）と分散型の集会（式）を織り交ぜて行っていく予定です。
・欠席が続いたあと、何を持っていけばいいのかわからない	ご心配をかけして申し訳ありませんでした。各学級の方法に違いは生じることはあっても、持ち物等の連絡に漏れ落ちが無いよう努めてまいります。

・毎年の学級編制が不安 ／各年希望	現段階で安心できている児童や保護者のみなさんにとっては不安、逆もしかり。多様な価値観、変化の激しいグローバル社会において、様々な人とコミュニケーションをとることが求められる中で、毎年学級編制をすることは子どもにとって大変有意義なことと考えております。一年間をこれまで以上に大切にして、教育活動を推進してまいります。
・給食を対面で食べるよう戻してほしい	アンケート以外でも同様のご意見をいただいています。ご意見を踏まえて検討してまいります。
・休み時間を増やしてほしい ・下校時間が早い	記述していただいたご意見のほとんどが休み時間に関係するものでした。現段階、児童の休み時間が少ないことのデメリットを理解しています。と同時に、職員が放課後、児童の教育活動のための時間が現段階で確保され授業準備等に充てられている良さもご理解いただきたい部分です。 職員で、全児童の休み時間を確保しつつ、授業準備や子どもを中心に考えた諸会議・研修の時間を確保できる時間割になるよう、検討させていただきました。令和 6 年度の日課時程については、別紙をご覧ください。
・欠席が続いたあと、何を持っていけばいいのかわからない	ご心配をかけして申し訳ありませんでした。各学級の方法に違いは生じることはあっても、持ち物等の連絡に漏れ落ちが無いよう努めてまいります。
・配布文書の電子化賛成 ／反対	紙で配布したほうが良いものと紙でなくても良いものを精査して使い分けてまいります。電子化によっての弊害を強く感じられている方は、お手数ですが可能であればご家庭での印刷を試みていただくか、教頭までご相談ください。
・宿題について 厳しく管理してほしい 量が日によってバラバラ	宿題そのものに「意味」や「意図」があることが大前提であると考えます。その例として、「知識・技能の定着」や「学び方を学ぶ」というものがあると思います。一方、学校全体で家庭学習のめやす時間を提示するとともに、学年内でどの様な宿題を出していくか共有することは必要と考えています。そして最終的には宿題を出す際、担任が「目的」を明らかにし、子どもが理解して帰宅できるよう努めてまいります。これからの学びの在り方として、「自立した学習者」の育成を担うための家庭学習であるように支援してまいります。
・読書の電子化を推進してほしい	「お子さんの姿」でも記させていただきましたが、読書の推進は学校の課題であると認識しております。千葉市では、千葉市図書館の利用カードを発行している方は電子書籍サービスを利用でるようになっています。子どもが学習で利用している「ギガタブ」でもこのサービスが利用できます。カードをお持ちの方は是非使ってみてください。 また、今後千葉市の小中学校の児童・生徒に千葉市図書館用の ID が付与されるとのことです。千葉市の電子書籍サービスとは別に、図書館の一部の本が読み放題になります。学校でも、子どもの実態に合わせて校内での読書活動を進めてまいります。

・「いのちの大切さ」について授業で扱ってほしい	SNS 上での子ども同士のトラブルの相談や報告が届いています。学校では、外部の講師による「携帯安全教室」や「弁護士によるいじめ防止教室」「いのちを守る教育月間」等を行いました。特別授業とは別に、担任による道徳の授業や日々の心の教育に努めております。 それ以外の生徒指導・教育相談もその都度対応してまいりますので、何かありましたら学校にお知らせください。 **※子どものスマートフォンの契約者は保護者ですので、購入時に使用上の約束を決めるとともに、お子さんと話し合った上でSNS上でのやり取りは定期的にご確認ください。**

その他、「災害から身を守る」教育の充実に関すること、「習熟度別学習」や「歩行指導」についてのご指摘、けがの事例から「安全管理」に関すること、「給食の味付け」に関することなど様々なご意見をいただきました。必要に応じて、担当や担当に詳細を伝えました。個の職員に対するご意見は、「体罰・及びセクシャルハラスメントに関する実態調査」の結果と合わせ、事実確認を行い管理職から伝えさせていただきます。

たくさんのご意見、ありがとうございました。

文責：教頭　安武　宏樹